

夢を追いかける

初の全国切符 思い切り



中学7人制ラグビー 府女子選抜10人

17日に水戸市で開幕するラグビーの全国中学生大会・女子の部（7人制）に、京都勢として初めて、京都府女子選抜が出場する。週末に合同練習を重ね、磨いてきた連係を武器に勝利を目指す。記虎那峰監督（醍醐西小教諭）は「チームワークが良く、まとまりがある。硬くならず思い切りプレーしてほしい」と期待する。

メンバーは上京、凌風、蜂ヶ岡、京都精華学園、音羽、修学院、亀岡、小栗栖に通う2、3年生10人。府ラグビー協会が主宰するクラブチーム「ジョイナス」の一員として土日に西京極補助競技場（京都市右京区）などで練習している。6月の関西大会で3位と

ラグビーの全国中学生大会に初出場する京都府女子選抜の選手（大阪府茨木市・追手門学院大）

パス、ハンドリングに自信

なり、初の全国切符をつかんだ。

小学生時代からラグビースクールに通っていた選手が多く、パスやハンドリングの技術に自信を持つ。ボールと人が動き回るランニングラグビーを掲げ、記虎監督は「ボール保持者へのサポートを早めて攻撃したい」と見据える。

大会には全国8チームが参加し、京都府女子選抜は初戦で東京都スクール選抜（関東1位）と対戦する。監督は「試合が近づき、チームにスイッチが入った。このメンバーでやってきた思いをぶつけてほしい」と願う。

男子の中学校の部には、西陵が4年ぶりに出場する。

（上坂恭平）